



兵庫県

鳥取城

鳥取県

若櫻鬼ヶ城

岡山県

水子城

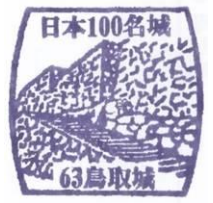
月山富田城

島根県

津山城

# 63 鳥取城

--- 100名城 ---  
2020.8.03



鳥取城は歴史上何度も激戦の舞台となったことで有名。信長・秀吉と毛利氏との戦いの場となった。特に秀吉軍による第二次鳥取城攻めでは過酷な兵糧攻めが行われたことで有名。石垣の一角に、天球丸の”球”の形に積まれた石垣が有るのには驚きです。

これは、最初から丸く作ったわけではなく、元あった普通の石垣が崩れそうになったため防護のために上からかぶせるように作ったとか。角が無いので巻石垣と呼ばれています。

また、石垣が球状だから天球丸という訳ではなく、江戸時代になってから造成された天球院（若桜鬼ヶ城 ワカサオニカシヨウ [続100名城の168番目] 城主 山崎氏の妻）がここに住んだことから天球丸と呼ばれるようになったとのこと。



鳥取は現役中何度か出張（智頭町、鳥取市）で来ています。特に印象深いのは、阪神淡路大震災後の出張で、電車・高速バスはダメでしたので、社内専属タクシーをチャーターして行ったのを記憶しています。

鳥取城本丸跡のある久松山（標高263m）へ登城しようと思ったのですが、登城口には「熊出没注意」看板があり、6月3回・7月2回の出没情報アリとのこと断念しました。



2D城郭データ



天球丸”球”の石垣



展示ジオラマ



# 168 若桜鬼ヶ城跡

わかさ おにが じょうせき

--- 続100名城 ---  
2020.8.02



若桜鬼ヶ城跡のある鶴尾山の麓の城下町は、山城のある普通の様相で落ち着きます。  
先にご紹介した愛知県の古宮城跡同様、道の駅を拠点にハイキングなど身近に楽しめるのもいいものです。



因幡三名城 (この他に鳥取城、鹿野城) のひとつに数えられる名城です。  
地理的 (若桜宿の南側にそびえる鶴尾山-標高452m-) に、播磨・但馬両国に通じる街道の結節点であり、因幡の重要拠点として栄えた。  
羽柴秀吉率いる織田軍が因幡国に侵入するとその拠点 (1581年の鳥取城攻め) となる。  
先に紹介した巻石垣のある鳥取城に、若桜鬼ヶ城の当時の城主山崎氏の妻が住んでいた。  
元和3年 (1617年) の一国一城令によって廃城となった。



案内板から



本丸からの眺望

出典：因伯古城跡図志 (部分、鳥取県立博物館所蔵)

# 169 米子城

--- 続100名城 ---  
2020.08.04



米子城は山陰で最初に築かれた近世初期の城郭で、典型的な平山城の特色を備えていました。湊山頂上には、四層五重の天守閣と四重櫓という大小2つの天守が、華麗に連なっていました。「一国一城令」の下、例外として存続を許された「支城」であり、このような天守をそなたものは全国でも稀。



FB - 067

ガイド本にスタンプの置き場所が天守東屋とあったので、その場所を探しましたが見つかりません。

丁度管理清掃員の方々登ってこられ尋ねたところ、以前そのスタンプは鎖ごと引きちぎられ今は無いとのこと。本当にふとどき者が居り情けないことです。仕方がないので市役所に隣接している歴史館にて押印しました。

## 2D城郭データ(画像)



### 城郭の空撮



米子城絵図(1667)



取り壊される前の米子城を撮影した貴重な写真(個人所有)



### 天守郭石垣

